

- 製品サイズ（約）／Φ80(コップ取手部98mm)×高さ215mm(ポーチ含まず)
■コップの満水容量／180ml

品 質 表 示	
品 名	ステンレス製携帯用まほうびん
実 容 量	0.6ℓ
保 温 効 力	56度以上（12時間）70度以上（6時間）
保 冷 効 力	11度以下（6時間）
材料の種類	内びん：ステンレス鋼、胴部：ステンレス鋼（アクリル樹脂塗装）
コップ	ポリプロピレン、口金：ステンレス鋼、中栓：ポリプロピレン・ABS樹脂
パッキン	シリコンゴム、ポーチ：表地・裏地＝ポリエステル、クッション材＝合成ゴム

■保温効力とは、室温20度±2度において製品に熱湯を中栓の下端まで満たし、縦置きにした状態で湯温が95度±1度の時から12時間および6時間放置した場合におけるその湯の温度です。

■保冷効力とは、室温20度±2度において製品に冷水を中栓の下端まで満たし、縦置きにした状態で水温が4度±1度の時から6時間放置した場合におけるその水の温度です。

■内びんに“赤さび状の斑点”や“水あか”が発生した場合には・・・

使用中、内びんに“赤さび状の斑点”が発生したり“水あか”が付着して変色することがあります。これは、水に含まれる鉄分が酸化して斑点が発生したり、水質による不純物の作用で発生した“水あか”が付着しているものですが、いつも清潔にお使いいただくためには、次のようなお手入れ方法をおすすめします。

※栓をしないで内びんに食酢を約10%加えた湯を入れ、約30分放置した後、柄のついた柔らかいスポンジブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。

※洗い終わった後は、食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

※使用により本体の塗装は徐々に劣化してきますので、塗装がはがれたりした場合には取り除いてから使用してください。

△注意：ポーチの取扱について

●ボトル以外のものを入れないでください。 ●火の側や高温になる所に置かないでください。 ●液体や氷などを直接入れないでください。 ●先のとがった物や鋭利な物を直接入れないでください。 ●引きずる・振り回す・投げるなどしないでください。 ●水濡れなどにより、色落ちや色移りすることがあります。 ●漂白や丸洗いしたり、乾燥機や洗濯機に入れたりしないでください。 ●濡れた場合は、乾いた布で水気をよく拭き取ってください。汚れや水気が付着したまま放置されますと、臭いやカビの原因になります。 ●使用後は、汚れや水気を乾いた布でよく拭き取り、風通しのよい日陰で十分に乾燥させてください。 ●暑い汚れは、薄めた中性洗剤を布やスポンジ等につけて落とし、洗剤分をよく拭き取って乾燥させてください。 ●直射日光や高温多湿を避けて、屋内の乾燥した場所に収納・保管してください。 ●ポーチを首・肩等にかけて携帯・使用される場合は、ケガ・事故にご注意ください。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。また、取扱説明書はいつでも再読できるように大切に保管してください。

※商業施設での使用やレンタル業などで使用しないでください。不特定多数の方が使用されるため、責任を負いかねますのでご了承ください。

※製品改良のため外観および仕様は予告なく変更することがあります。

※レンタル等による貸出し、オークション等による転売や中古販売、及び譲渡によって発生した故障・損傷・劣化・損害・事故などにつきましては、一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

この度は、当社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

■製品に関してお気づきの点・ご不明の点がございましたら、お買い上げの販売店、または当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

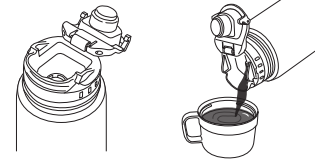
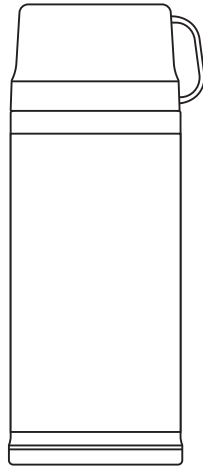
販売元

お客様相談窓口フリーダイヤル

株式会社 西松屋チェーン 0120-7-24028
〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1 受付時間 10:00～18:00（土・日・祝日・弊社所定休日を除く）

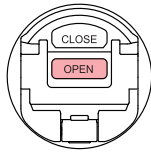


2WAYステンレスボトル 600mlポーチ付き 取扱説明書



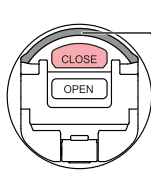
直飲み・コップ飲み の2WAYタイプ

【開ける時】



OPEN部分を
押してください。

【閉じる時】



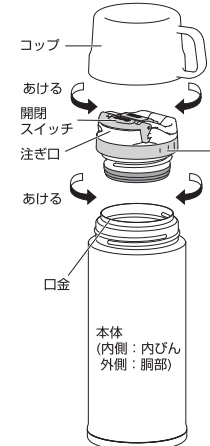
CLOSE部分を
押してください。

※開閉スイッチの先端を
押されると開まりにく
いことがあります。
フタを閉める際は必ず
CLOSE部分を押してく
ださい。

ポーチ付き

※直飲みする場合は、やけどの恐れがあるため
熱いものは入れないで下さい。

■各部の名称



■使用方法

●ご使用前に、内びん・口金部分・コップ・中栓を十分に洗ってください。

1.本体からコップと中栓を外します。

2.飲料物を入れます。

※あらかじめ少量の熱湯(冷水)を入れ、予熱(予冷)してから入れ替えると保温(保冷)により効果的です。

△注意：飲料物は、必ず中栓の下端より少なめに入れてください。
入れすぎると、中栓を開める時にあふれ出る恐れがあり危険です。

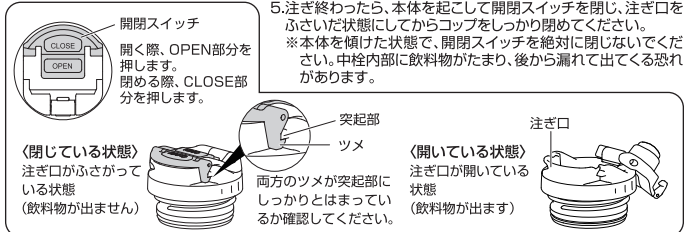
3.中栓・開閉スイッチを確実に閉めてください。

※必ず本体を横にして、漏れないことを確認してからコップを開めてください。

※熱い飲料物を入れた直後に中栓を開めると、内圧が上がって開閉スイッチが操作しにくくなったり、中栓が開きにくくなる場合があります。中栓を一度開けて、空気を入れてから閉め直してください。

4.飲料物を注ぎます。開閉スイッチを開き、本体を傾けて注ぎます。
※直飲み使用する時は、保冷専用となります。火傷の危険があるので、飲料を入れる際には温度に十分注意してください。
※本体を傾けた状態で開閉スイッチを絶対に操作しないでください。飲料物があふれ出て火傷等の恐れがあり危険です。

5.注ぎ終わったら、本体を起こして開閉スイッチを閉じ、注ぎ口をふさいだ状態にしてからコップをしっかり閉めてください。
※本体を傾けた状態で、開閉スイッチを絶対に閉じしないでください。中栓内部に飲料物がたまり、後から漏れて出てくる恐れがあります。



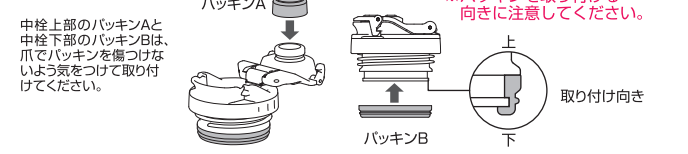
△注意：パッキンの取り付けを誤ると、漏れる等の原因になります。図のように正しく取り付けてください。

■お手入れ方法

※特にお湯（水）以外の飲料物に使用した後は、におい移りを防いでいつまでも清潔にご使用いただくため、十分にお手入れしてください。

1.内びん・口金部分・コップ・中栓をきれいに洗い、早めに水気を拭き取って乾燥させてください。
2.本体の汚れは、湯で薄めた食器用洗剤を布に含ませて落とし、乾いた布で洗剤分をよく拭き取って乾燥させてください。

■パッキンの取り付け方



△使用上の注意：必ずお守りください。

◎飲料物の漏れやあふれは、火傷や他の物を汚す原因になります。

●乳幼児の手の届く所に置かないでください。また、いたずらには十分注意してください。火傷等の恐れがあります。

●ストーブやコンロなど、火の側に置いたり近づけないでください。樹脂部が変形したり、変色の原因になります。

●飲料物の量は、必ず中栓の下端より少なめに入れてください。入れすぎると、あふれ出る恐れがあり危険です。

●中栓・開閉スイッチ・コップは確実に閉めてください。また、パッキンを必ず確認してください。閉め方が不十分だったりパッキンが正常に付いていないと、漏れたり火傷等の原因になります。

●本体を傾けた状態で、開閉スイッチを絶対に操作しないでください。飲料物があふれ出て火傷等の恐れがあります。

●携帯の際（特に車やリュック等で携帯する場合）は、万一の漏れを防ぐために本体を立てた状態にしてください。

●丸洗いができますが、つけ洗い（水中に放置）はしないでください。水が浸入して錆が発生したり、他の物を汚す恐れがあります。

●本体を丸洗った後は、必ず水分を拭き取ってください。拭き取らないと、水滴のあとが残ったり、錆や他の物を汚す原因になります。

●電子レンジでは使用しないでください。電子レンジの故障や、変形して漏れる原因になります。

●中栓やパッキン・コップは、煮沸や高温乾燥しないでください。変形して漏れる等の原因になります。

●飲料物の保温・保冷以外に使用しないでください。

●次の物は絶対に入れないでください。
※ドライアイス・炭酸飲料。（内圧が上がって中栓が開かなくなったり、内容物が吹き出る恐れがあります。）
※牛乳・乳飲料・果汁等。（腐敗や変質の恐れがあります。）
※みそ汁・スープ等の塩分を含んだ物。（錆の恐れがあります。）

●熱い飲料物は、絶対に本体の注ぎ口から直接飲まないでください。火傷や他の物を汚す恐れがあります。必ずコップをご使用ください。

●車等の走行中は、使用しない（中栓を開けない）でください。火傷や他の物を汚す恐れがあります。特に運転者の場合は、運転への注意が散漫になり非常に危険です。

△ご注意とお願い

●落とす・ぶつける等の衝撃を与えないでください。本体がへこんで効力が低下したり、漏れる恐れがあります。

●熱いやかん等を口金（肩口）に触れさせないでください。傷や変形・転倒して火傷等の恐れがあります。

●大きな氷を入れる場合は、たいたたり無理に押し込んだりしないで、必ず小さくしてから入れてください。

●食器洗い機や食器洗い乾燥機等の使用は避けてください。また、食器洗い機用の洗剤は使用しないでください。損傷・変形・錆などの原因になります。

●さらし粉等の塩素系漂白剤・シンナー・ベンジン・金属たわし・みがき粉・クレンザー等を使用しないでください。変質や傷・錆や穴があく等の原因になります。

